

目標達成計画

事業所名 グループホームつばさ  
作成日： 2021年 1月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	6	新たな要望や変化が見られない場合も、月に1回程度は現状確認を行っている。	3か月に1回のカンファレンス、2か月に1回の勉強会で話し合い現状確認しているが、5月・11月に空きがあるので、確認する話し合いをする。	5月・11月はケアマネージャーと計画作成担当者で担当者会議を開催し、現状確認する。	1 か月	すでに、ケアマネージャーと計画作成担当者に通達し、各ユニットで毎月の現状確認が出来るように変更した。
2	18	1部の利用者の口腔内状況を把握しにくい。	介助出来る利用者は把握できるが、自身で口腔ケアされる利用者の口腔内状況を把握し難い現状を、改善する。	利用者に担当スタッフを決め、できる時に口腔内状況を把握する。	6 か月	認知症や羞恥心で口腔内を確認し難いが、機嫌が良い時などタイミングを見計らって確認する。
3	37	家族がホームの活動に参加できるように、場面や機会を作る。	県内感染状況が0になったら、3密を避けて家族とのイベント等に参加して頂く。	窓越し面会は、現在でも行っているため、家族がイベントに参加出来るようにしていきたいが、コロナの状況次第である。	24 か月	コロナの感染状況とワクチン・治療薬の確立で状況が変化しないと難しい。
4	13	コロナ禍で外出の機会が減り、日常的な外出支援が行えない。	県内感染状況が0になったら、3密を避けて外出支援出来るようにする。	外出出来ない分、室内イベントを充実させて利用者が楽しんで暮らせる環境をつくる	12 か月	公園や近所に散歩程度は出来ているが、認知症でマスクをずっと付けることさえ難しいので、せめて県内感染者が0になったら外出支援していきたい。
5	40	運営推進会議は2020年は紙面開催が多く、家族や地域も人とも直接話す機会が無く、報告だけになってしまっている。	コロナ感染拡大もあり、不特定多数が一堂に参加する運営推進会議は開催できないので、感染状況を見ながら開催し、意見を聞きたい。	コロナの感染状況とワクチン・治療薬の確立で状況が変化しないと難しい。	24 か月	コロナの感染状況とワクチン・治療薬の確立で状況が変化しないと難しい。

- 注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。
- 注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。
- 注3) 外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告してください。
- 注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。